

# 地域おこし協力隊 が着任しました



町では、今年度、「都会を離れて地方で生活したい!」「地域社会に貢献したい!」といった気持ちを抱いている都会の若者3名を、地域おこし協力隊として迎える予定です。

7月1日からは2名の方が着任しています。地域おこし協力隊は、様々な地域協力活動を積極的に行いながら、「まちづくり」に貢献し、最終的には町へ定住することを目指しています。

役場の商工観光労政課と企画振興課に席を置いていますが、イベントなど、街中で見かけましたら気軽に声がけください。



いとな がけいすけ  
**糸長佳祐**  
35歳  
神奈川県出身



すがいけん  
**菅井研**  
31歳  
札幌市出身

日本の大学で土木工学を学んだり、オーストラリアで動物学の博士を取得したり、変わった経験を持った自然が大好きな、明るい性格の男性です。みんなと一緒に八雲の地域おこしに貢献したいと思っています。また、新しいことにもどんどんチャレンジしていくと思っています。町で見かけたら気軽に声をかけてください。

私は11人兄弟の三男として札幌で育ち、小さな時から沢山の人と笑顔の中で育つためか、賑わいのあることが大好きです。仕事もホテルの営業、イベントサポート等、人を沢山集めて笑顔にしていくことをきました。今までの経験を活かし、町の魅力をたくさん発信し、町のファンを増やしていく

## 今年のサマージャンボ宝くじは、 1等前後賞合わせて**5億円**

発売期間は7月10日(水)～8月2日(金)まで



※この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

落部連合町内会では、財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業によりワンタッチ式行事用テントを購入しました。

この事業は、同センターが全国自治宝くじの普及広報事業費として受け入れる受託事業収入を財源として、住民のコミュニティ活動を促進し、その健全な発展を図るとともに宝くじの普及及広報を目的に行われています。今回のワンタッチ式行事用テント10張の整備によって、落部連合町内会の行事会場設営の負担軽減と地域イベントへの有効活用など、地域コミュニティ活動がより一層図られ、地域活動の活発化が期待されます。



6月2日 つつじ祭りで活用

**宝くじの助成金で  
行事用テントを購入**

